

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
294250_王寺町	②学校と地域の課題	通学路等の地域安全・地域防災	義務教育学校開校に伴う通学路の変更により、児童の安全確保が課題	令和4年度から教育委員会が募集し、ボランティアを登録していたが、今後、コーディネーターを調整役として地域が主体となって持続可能な見守り活動を実施していく。	令和4年度から教育委員会が募集し、ボランティアを登録していたが、今後、コーディネーターを調整役として地域が主体となって持続可能な見守り活動を実施していく。	学校、地域、行政の役割分担を明確化することにより、行政の伴走支援の具体化や地域との協働が進み、教員の負担が軽減する。	見守りボランティアの参加者目標値 200名に対する割合	75	%	90 (%)	150 (人)	令和7年度(3月末時点)での登録者数は150人である。関わっているボランティアの高齢化による、既存の登録者の辞退の数に対して新規登録者数が伸びていないことが原因であると考え、募集の広報活動と学校との連携を強化していく。	https://www.town.oii.nara.jp/ka-kuka/kyoikuinkai/syogaigakusy-u/gyomuannai/9758.html

- 01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる
- 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した